

環境調査結果のお知らせ

令和4年11月21日午前に野見湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

漁場環境は水温が21.5～22.2℃、塩分が34.0～34.1、溶存酸素量が5.8～6.7mg/Lでした。

湾内の透明度は6.0～8.6mでした。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で1 cell/mL、貝類に対して有害なヘテロカプサ・サーキュリスカーマが最高で24 cells/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所又は水産試験場までご連絡ください。

水温と塩分(表1・2)

水温は21.5～22.2℃、塩分は34.0～34.1でした。

前回調査時(R4.10.11)と比較して、水温は全層で3.9～4.1℃低下しました。塩分は全層で0.3～0.6上昇しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は5.8～6.7mg/Lでした。

前回調査時と比較して、全層で0.7～1.3mg/L増加しました。

透明度・プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は6.0～8.6mでした。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で1 cell/mL、貝類に対して有害なヘテロカプサ・サーキュリスカーマが最高で24 cells/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

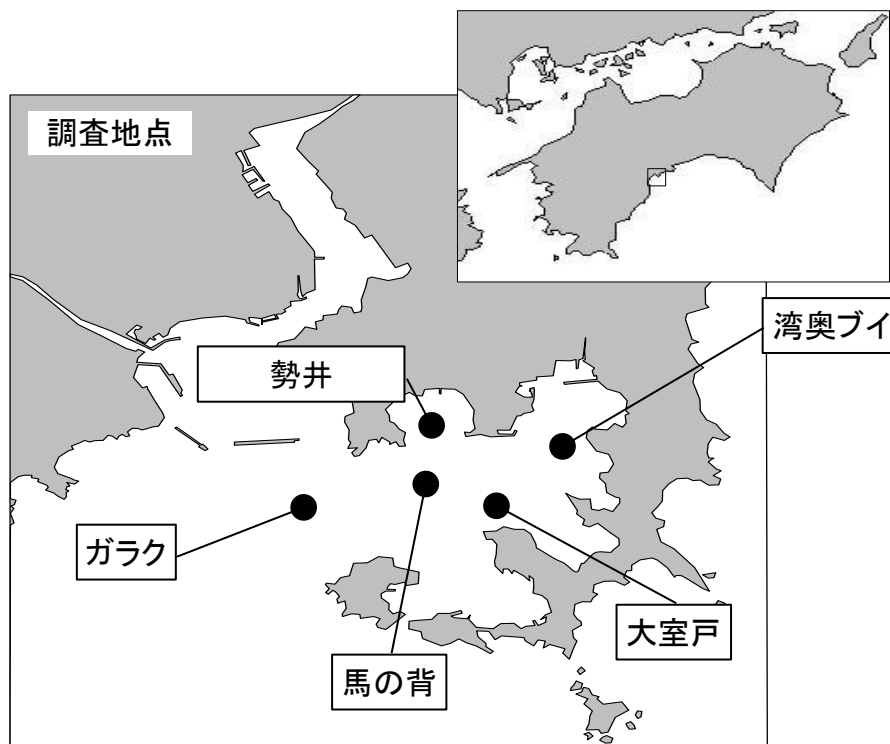


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	白浜	漁場平均※	前回調査(R4.10.11)	
							漁場平均※	前回との差 今回-前回
0m	22.0	22.0	22.2	21.9	22.2	22.1	26.0	▲ 3.9
2m	21.9	22.0	22.2	21.9	22.2	22.0	26.0	▲ 4.0
5m	21.7	21.9	22.2	21.9	22.0	21.9	25.9	▲ 4.0
10m	21.6	21.8	22.2	21.9	21.9	21.9	25.9	▲ 4.0
B-1m	21.5	21.5	22.2	21.9	21.6	21.8	25.9	▲ 4.1

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	白浜	漁場平均※	前回調査(R4.10.11)	
							漁場平均※	前回との差 今回-前回
0m	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	33.5	0.6
2m	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	33.5	0.6
5m	34.0	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	33.5	0.6
10m	34.0	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	33.6	0.5
B-1m	34.0	34.0	34.1	34.1	34.0	34.1	33.8	0.3

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	白浜	漁場平均※	前回調査(R4.10.11)	
							漁場平均※	前回との差 今回-前回
0m	6.3	6.5	6.5	6.7	6.6	6.5	5.4	1.1
2m	6.3	6.5	6.2	6.3	6.7	6.4	5.3	1.1
5m	6.2	6.4	6.3	6.1	6.5	6.3	5.0	1.3
10m	6.1	6.3	6.3	6.0	6.1	6.1	4.8	1.3
B-1m	5.8	6.2	6.0	5.9	5.9	6.0	5.3	0.7

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	白浜
水深	16.5	24.5	16.8	20.5	19.2
透明度	6.5	8.5	8.0	6.0	8.6
前回(10/11)	3.5	3.9	3.9	3.5	3.5

表5 プランクトン(cells/mL)

		カレニア・ミキモトイ	ヘテロカプサ・ サーキュラリスカーマ	珪藻類
		湾奥ブイ	0m	0
	2m	1	14	5
	5m	0	24	10
大室戸	0m	0	2	2
	2m	0	5	1
	5m	0	2	3
馬の背	0m	0	0	2
	2m	0	1	5
	5m	0	1	2
勢井	0m	0	0	3
	2m	0	1	4
	5m	0	1	2
ガラク	0m	0	0	3
	2m	0	0	3
	5m	0	0	3